

『町家・古民家で紡ぐ倉敷のまちづくりを考えるシンポジウム』
「～伝建地区と歴史まちづくり～これまでとこれから～」

2024年3月23日(土) (受付13:00～)

開会13:30 <基調講演・パネルディスカッション> 閉会16:00

倉敷市立美術館・3階講堂

(倉敷市中央2丁目6-1)

【講師】 後藤 治 氏 工学院大学総合研究所教授・理事長

<基調講演> 伝建地区と歴史まちづくり～これまでとこれから

<パネルディスカッション> 町並み保存の意義・歴史や町並みを活かしたまちづくり



後藤 治 (ごとうおさむ) 工学院大学総合研究所教授・理事長

東京大学工学部建築学科卒業

東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程中退

博士(工学)、一級建築士

専門 日本建築史、歴史的建造物の保存修復

締切/2024年3月15日(金) 17:00まで mail・FAXにて

定員/150名 ※先着順とさせていただきます

参加費/無料

CPD認定プログラム/2単位予定

問合先/ (一社)岡山県建築士会 倉敷支部

090-4147-0010 (担当:林まで)

主催/倉敷市、(一社)岡山県建築士会倉敷支部

後援/倉敷伝建地区をまもり育てる会

くらしき美観地区事業者振興会

昭和53年に倉敷市伝統的建造物群保存地区保存条例が制定され、45年の月日が経ちました。伝建地区をはじめとする倉敷美観地区では、地域の皆様のご協力のもと、保存地区指定区域の拡大や無電柱化、路面美装化などが進められ、世界中に評価される美しい町並みが守られてきました。空き家の改修や復元なども活発に行われ、町家・古民家の保存・利活用が促進されてきましたが、建物外観は時代の流れとともに少しずつ変化が生じている部分もあるように感じます。

これらを踏まえ、倉敷の明るい未来を紡いでいくために「まちにとっての町並み保存の意義」を深掘りするとともに、「歴史や町並みを活かしたまちづくり」について考えるシンポジウムを開催いたします。

なお、本シンポジウム内において、伝建地区の過去と現在との比較調査等を生かした「倉敷懐中(ふところ)マップ」等のご紹介も行います。これらの製作プロセスは町家・古民家の保存や利活用に関する取組の参考になり得ると思いますので、市内に限らず、高梁川流域圏内にお住まいの皆様も奮ってご参加いただけますと幸いです。

参加申込書

メールは、shikai.kurashibu202007@gmail.com

FAXは、086-427-3289 まで送信してください。

氏名	フリガナ ()	
連絡先	〒 住所 電話: e-mail: CPD:	FAX: